

Beautiful Mind

@SAKIZO BUILDING

目に見えるその姿は、写し鏡。
心美しい大人でありたい…
ふと思う、鴨川沿いのひと夜。

美の観念はさまざま。ある人は上質なスーツに身を包み、颯爽と雑踏をゆくビジネスマンの背中に美しさを感じ、ある人は冬の朝、台所に立つ母のささくれ立った指先を美しいと思う。あなたの思う美しさとは何だろうか。7月27日、ついに完成した「SAKIZO」ビルのランドオープン記念イベントにおいて、そのテーマに掲げられたのが「美」であった。リラクゼーションスパ、フラワーショッブ、ヘアサロン…と個性豊かなショップ群が集うビルの中でも、1階レストラン「BANKA」の「10」と5階トロッティア「LOGG」が今回のイベントステージに。鴨川をくぐる涼風が心地よく感じられる頃、ワンピース姿にルーズなアップヘアでまとめた女性や、気恥ずかしさを漂わせるカップルが続々と訪れる。そのお目当ては、SENZ、TWOプロデュースのウェディングドレスショーだ。夜空を彩る天の川のごとくスワロフスキーがきらめくアプローチより、登場したのは5人の花嫁たち。サレンドリボン巻きつけた大人の甘さを放つランタースタイル、柔らかなオーガンジーが優しいボリュームをもたせるプリンセスライン…。一挙に注がれる女性たちの視線の先にあるのは、憧れと共に投影する未来の姿なのだろうか。

ため息がこぼれるような幸せな余韻のまま、ストリップドレスに身を包んだシンガー・杉山千絵が会場に姿を見せる。透明感を帯びるジャジーなサウンドが空間のすみずみまで染み渡り、今宵のメインゲストである「Jazztronik」のアカースティックライブへ。DJ野崎良太の登場に思わず歓声が湧き上がるが、身体の芯に響くようなシンセサイザーの音が放たれると同時に、スッと静まり返る空間。やがてアップテンポに展開するリズムに身を委ね、ゆるやかな時間が過ぎていった。

さらにフロアを自由に行き来し、DJブースより響く音楽を耳に鴨川のテラス席で食事をしたり、フロアでグラス片手に会話に興じたり…と、思い思いの時間が流れているうちに、ふとコンセプトに掲げられた『Beautiful Mind』の意味を知る。

美とは、豊かな心が放つもの。幸せの笑顔や豊かな音楽を、素直に美しいと感じられる自分になりたい。ちよっぴり着飾りつつも無理に背伸びはしない、心のゆとりをじんわり愉しむ大人の夜が更けていった。



歌の合間のささやくような話し声も魅了されるシンガー・杉山千絵。透き通るような口笛も披露してくれ、優しく心に染み入る大人のライブに



「女性の方にビューティフルマインドを費ってもらえるような、愛されるビルになりたいですね」とは、SAKIZOグループ副社長である田村元起さん



今回のメインDJ・野崎良太。アボなしで葉加瀬太郎にデモテープを渡し、その才能を見初められて今に至るとか。この日はオトナ系タイニング「LOGIC」のフロアにふれんばかりの活気を注入していた



デザイン性と素材感を重視したドレスに身を包んでウォーキングするモデルの皆さま。実は全員が挙式間近の一般モデルさん。なるほど、幸せの笑顔がしっとりハマるはず



α-stationのDJ・中みつ美娘と編成部の藤本さんと堀さん。初めて訪れたSAKIZOビルを見渡し、「久しぶりに京都でヨソ行きのオシャレして行ける空間ができましたねえ」と一言



「このビル、けっこう奥行きあるんですね」と賞かかれていた「Cabaret」オーナーの鈴木秀信さん。「年明けにビッグイベント考えてますので、お楽しみに」だそう

「映画の『時計じかけのオレンジ』を思わせる60年代イメージで、緊張らずゆったりできそう」と、「LOGIC」に訪れたトモコさんとヒロさん



お仕事帰り、それぞれに分かれてリサーチに訪れたところ、結局のところ全員が勢ぞろいしたという「エスカフェ」の皆さま



ウェディングショーのクライマックスを飾ったブーケトスで、見事ブーケを手に入れたマオくんもヨシさんカップル、「早く着たいな〜」の言葉に、ヨシくん照れ笑いはよ着せられた!!



野崎良太が率いるJazztronikは、特定のメンバーを持たない自由なミュージック・プロジェクト。ゆる〜いジャズから3時間盛りっ放し覚悟のライブ音楽までお手のものだ

今回のイベントを指揮したクリエイター集団「SOCKET CREATIVE」率いる以西裕介さん。「外見じゃなく、内面から輝く美しい女性になってほしい〜という願いを込めました」と言いつつも、「オナカこましとこ(笑)」とアンボース

「枝鳥枝鳥ひとしな」オーナー枝園さんとご子息の蓮くんもご来場。コメントをいただいている最中、いつもパパに付いてクラブ常連(〇)の蓮くんは「じゃ、ちょっと先に奥行ってっくわ」とすっかり慣れた様子で



まるで異次元感盛り合うような印象的なアプローチが目印のSAKIZOビル。京都ブランドを発信するアパレルメーカー「SAKIZO」本社を核に、ラグジュアリー感あふれる飲食店や女性の美をサポートする店舗が揃う